

銅・アルミ

市況見通し

11月

銅

9月の伸銅品生産(速報値)は、前年同

月比で0・1%増の5万3400ト。14品目中、伸銅品が前年同月実績を上回った。

9月の銅電線出荷量(推定値)は同2・7%

増の5万4200トで、うち国内が同0・5%減、輸出が同15・4・8%増だった。

銅輸出は、電気銅が同6・9%増の6万2287ト、銅スクラップが同39・6%減の2万510ト。

銅輸入は、電気銅が同37・1%減の295ト、銅スクラップが同42・3%増の1万3484トだった。

11月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	9000~10000 ^{ドル}	強い
電気銅建値	135~159万円	強い
為替(1 ^{ドル})	145~155円 (1カ月間TTM)	円安

銅スクラップ景況予想

10月の電気銅建値は、月初の145万円が月末には149万円へ上昇した。流通(一

次問屋)の10月在庫は、伸銅品の生産減および発生減により品薄だった。長期在庫分は相場の上昇により、売れず買えずのこう着状態となった。

このことから中国経済は堅調推移の可能性が高いと見ている。「米大統領選」では、

「米大統領選」では、いわゆる「トランプトリード」は盛んになり、流動資金が金属から抜け下落する可能性が高いと予想している。

アルミ

9月のアルミ圧延品生産量(板類・押出類合計)は同1・0%減の13万9426トとなり、前年同月比で2カ月連続のマイナスとなった。9月生産量は板類が同1・1%増の8万6493ト、押出類が同4・4%減の5万2933ト。

9月のアルミ二次合金生産量(板類・押出類合計)は同1・0%減の13万9426トとなり、前年同月比で2カ月連続のマイナスとなった。9月生産量は板類が同1・1%増の8万6493ト、押出類が同4・4%減の5万2933ト。

9月のアルミ二次合金生産量(板類・押出類合計)は同1・0%減の13万9426トとなり、前年同月比で2カ月連続のマイナスとなった。9月生産量は板類が同1・1%増の8万6493ト、押出類が同4・4%減の5万2933ト。

9月のアルミ二次合金生産量(板類・押出類合計)は同1・0%減の13万9426トとなり、前年同月比で2カ月連続のマイナスとなった。9月生産量は板類が同1・1%増の8万6493ト、押出類が同4・4%減の5万2933ト。

11月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ現物後場買い	2400~2700 ^{ドル} (現物後場買い)	強い
スクラップ	プラス5~プラス10円 (前月最終価格より)	強い

アルミスクラップ景況予想

今月は「中国の景気動向」と「米大統領選」に左右される。「中国の景気動向」では、中国全人代での大規模な景気刺激策を期待。5日発表のS&Pでは「10月の中国サ

Pでは「10月の中国サ」は52・0と、前月の50・3から上昇し、3カ月ぶりの高水準となった。

9月のアルミ二次合金・同合金地金生産は同8・2%減の5万8335トで2カ月連続のマイナス。アルミ二次合金・同合金地金出

9月5ト、アルミスクラップが同32・3%減の2万3782ト、アルミ仕が同52・6%増の9152ト。輸入はアルミ新地金が同4・6%減の7万3327ト、アルミ二次合金が6・9%減の8万625ト、アルミスクラップが同4・6%増の640ト、アルミ合金スクラップが同27%増の6739トだった。

橋本アルミ取締役 橋本 健一郎氏レポート



9月の伸銅品生産(速報値)は、前年同月実績を上回った。

9月の銅電線出荷量(推定値)は同2・7%

増の5万4200トで、うち国内が同0・5%減、輸出が同15・4・8%増だった。

銅輸出は、電気銅が同6・9%増の6万2287ト、銅スクラップが同39・6%減の2万510ト。

銅輸入は、電気銅が同37・1%減の295ト、銅スクラップが同42・3%増の1万3484トだった。

このことから中国経済は堅調推移の可能性が高いと見ている。「米大統領選」では、

「米大統領選」では、いわゆる「トランプトリード」は盛んになり、流動資金が金属から抜け下落する可能性が高いと予想している。

11月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ現物後場買い	2400~2700 ^{ドル} (現物後場買い)	強い
スクラップ	プラス5~プラス10円 (前月最終価格より)	強い

アルミスクラップ景況予想

今月は「中国の景気動向」と「米大統領選」に左右される。「中国の景気動向」では、中国全人代での大規模な景気刺激策を期待。5日発表のS&Pでは「10月の中国サ

Pでは「10月の中国サ」は52・0と、前月の50・3から上昇し、3カ月ぶりの高水準となった。

9月のアルミ二次合金・同合金地金生産は同8・2%減の5万8335トで2カ月連続のマイナス。アルミ二次合金・同合金地金出

9月5ト、アルミスクラップが同32・3%減の2万3782ト、アルミ仕が同52・6%増の9152ト。輸入はアルミ新地金が同4・6%減の7万3327ト、アルミ二次合金が6・9%減の8万625ト、アルミスクラップが同4・6%増の640ト、アルミ合金スクラップが同27%増の6739トだった。

11月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ現物後場買い	2400~2700 ^{ドル} (現物後場買い)	強い
スクラップ	プラス5~プラス10円 (前月最終価格より)	強い

アルミスクラップ景況予想

今月は「中国の景気動向」と「米大統領選」に左右される。「中国の景気動向」では、中国全人代での大規模な景気刺激策を期待。5日発表のS&Pでは「10月の中国サ

Pでは「10月の中国サ」は52・0と、前月の50・3から上昇し、3カ月ぶりの高水準となった。

9月のアルミ二次合金・同合金地金生産は同8・2%減の5万8335トで2カ月連続のマイナス。アルミ二次合金・同合金地金出

9月5ト、アルミスクラップが同32・3%減の2万3782ト、アルミ仕が同52・6%増の9152ト。輸入はアルミ新地金が同4・6%減の7万3327ト、アルミ二次合金が6・9%減の8万625ト、アルミスクラップが同4・6%増の640ト、アルミ合金スクラップが同27%増の6739トだった。